

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年8月7日

上場会社名 株式会社タカギセイコー 上場取引所 東  
 コード番号 4242 URL https://www.takagi-seiko.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 章裕  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 林 延幸 (TEL) 0766-24-5522  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,009	△10.3	544	25.3	439	25.0	153	30.9
2019年3月期第1四半期	13,390	18.9	434	△19.3	351	△17.2	117	△58.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 392百万円( -%) 2019年3月期第1四半期 △50百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	56.41	ー
2019年3月期第1四半期	43.08	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	40,521	10,671	18.6
2019年3月期	40,519	10,292	18.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 7,538百万円 2019年3月期 7,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	10.00	ー	10.00	20.00
2020年3月期	ー				
2020年3月期(予想)		10.00	ー	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,020	△8.2	790	7.6	700	9.0	160	△28.0	58.89
通期	48,090	△10.1	2,320	2.3	2,110	△0.3	810	△19.6	298.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	2,759,172株	2019年3月期	2,759,172株
2020年3月期1Q	42,111株	2019年3月期	42,111株
2020年3月期1Q	2,717,061株	2019年3月期1Q	2,717,121株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境は堅調な一方、企業業績や個人消費が横ばいとどまり回復の動きに足踏みが見られました。海外におきましては、米国では企業の設備投資と個人消費が堅調に推移し金融緩和政策を推し進めて更なる景気浮揚を模索する一方、中国との通商政策における問題が長期化しております。中国では前出の件に加え、国内経済の成長減速が表れており、日本経済に及ぼす影響が不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは「国内収益基盤の強化」、「海外収益基盤の強化」、「事業運営基盤の強化」の3つの大方針を柱とする事業施策を推進し、様々に変化する事業環境の中においても安定して継続的に事業展開できる企業を目指し事業活動を進めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,009百万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。損益面では、営業利益は544百万円（前年同四半期比25.3%増）、経常利益は439百万円（前年同四半期比25.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は153百万円（前年同四半期比30.9%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 日本

売上高につきましては、その他事業の販売は増加したものの成形品事業の車両分野等の受注の減少により、6,392百万円（前年同四半期比13.7%減）となりました。損益につきましては、減収の影響等により、営業損失は164百万円（前年同四半期は営業損失71百万円）となりました。

## ② 中国

売上高につきましては、OA（その他）分野におけるノートパソコン用筐体部品の受注の減少及び車両分野における受注の減少等により、3,122百万円（前年同四半期比16.4%減）となりました。損益につきましては、製品構成の変動や原価低減活動の成果等により、営業利益は485百万円（前年同四半期比44.5%増）となりました。

## ③ 東南アジア

売上高につきましては、インドネシア・タイにおける車両分野の受注の増加により、2,495百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。損益につきましては、増収効果や原価低減活動の成果等により、営業利益は210百万円（前年同四半期比35.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、40,521百万円と、前連結会計年度に比べ、2百万円増加となりました。

### ① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、20,247百万円となり、前連結会計年度末と比べ67百万円増加しました。これは主に、売上債権の減少1,060百万円、現金及び預金の増加799百万円、たな卸資産の増加316百万円によります。

### ② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、20,273百万円となり、前連結会計年度末と比べ65百万円減少しました。これは主に、機械装置及び運搬具（純額）の減少267百万円、リース資産（純額）の増加172百万円、建設仮勘定の増加138百万円によります。

### ③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、19,235百万円となり、前連結会計年度末と比べ553百万円減少しました。これは主に、仕入債務の減少574百万円によります。

### ④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、10,614百万円となり、前連結会計年度末と比べ177百万円増加しました。これは主に、リース債務の増加172百万円によります。

### ⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、10,671百万円となり、前連結会計年度末と比べ、378百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加126百万円、非支配株主持分の増加169百万円によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日付「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました、第2四半期(累計)期間の業績予想を修正しております。その詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、通期の業績予想につきましては前回予想を変更しておりませんが、今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,603	5,403
受取手形及び売掛金	9,369	8,261
電子記録債権	976	1,022
たな卸資産	3,906	4,223
未収入金	610	587
その他	712	748
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,179	20,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,638	3,628
機械装置及び運搬具（純額）	5,109	4,841
土地	6,589	6,543
リース資産（純額）	1,986	2,159
建設仮勘定	232	371
その他（純額）	979	959
有形固定資産合計	18,536	18,503
無形固定資産		
ソフトウェア	101	116
のれん	24	21
その他	122	123
無形固定資産合計	248	261
投資その他の資産		
投資有価証券	873	825
出資金	233	238
破産更生債権等	10	10
繰延税金資産	140	147
その他	352	344
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産合計	1,553	1,509
固定資産合計	20,339	20,273
資産合計	40,519	40,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,702	4,244
電子記録債務	3,917	3,800
短期借入金	2,653	2,666
1年内返済予定の長期借入金	3,583	3,440
リース債務	1,100	1,013
未払法人税等	212	275
賞与引当金	576	276
役員賞与引当金	—	10
その他	3,041	3,506
流動負債合計	19,789	19,235
固定負債		
長期借入金	5,846	5,806
リース債務	560	733
役員退職慰労引当金	96	15
退職給付に係る負債	3,743	3,718
繰延税金負債	87	136
その他	102	205
固定負債合計	10,437	10,614
負債合計	30,226	29,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,104	2,104
資本剰余金	1,807	1,807
利益剰余金	3,995	4,121
自己株式	△54	△54
株主資本合計	7,852	7,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△231	△256
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△97	6
退職給付に係る調整累計額	△194	△190
その他の包括利益累計額合計	△522	△440
非支配株主持分	2,962	3,132
純資産合計	10,292	10,671
負債純資産合計	40,519	40,521

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	13,390	12,009
売上原価	11,545	9,918
売上総利益	1,844	2,091
販売費及び一般管理費	1,410	1,547
営業利益	434	544
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	13	13
作業屑売却収入	15	14
助成金収入	—	2
その他	28	9
営業外収益合計	62	44
営業外費用		
支払利息	101	86
為替差損	27	49
その他	15	12
営業外費用合計	144	148
経常利益	351	439
特別利益		
固定資産売却益	3	60
特別利益合計	3	60
特別損失		
固定資産除却損	13	5
投資有価証券評価損	—	24
特別損失合計	13	29
税金等調整前四半期純利益	342	470
法人税等	138	206
四半期純利益	203	263
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	110
親会社株主に帰属する四半期純利益	117	153



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	203	263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△24
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△231	146
退職給付に係る調整額	△9	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	5
その他の包括利益合計	△253	128
四半期包括利益	△50	392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35	235
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	156

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間の期首より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表上、有形固定資産のリース資産(純額)が349百万円、流動負債のリース債務が52百万円、固定負債のリース債務が300百万円、それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	7,402	3,735	2,251	13,390
セグメント間の内部売上高 又は振替高	157	62	0	220
計	7,560	3,798	2,251	13,610
セグメント利益又は損失 (損失は△)	△71	335	154	419

注) 1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 中国…中華人民共和国、香港

(2) 東南アジア…インドネシア、タイ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	419
セグメント間取引消去	14
四半期連結損益計算書の営業利益	434

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	6,392	3,122	2,495	12,009
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	101	1	165
計	6,454	3,223	2,496	12,174
セグメント利益又は損失 (損失は△)	△164	485	210	531

注) 1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 中国…中華人民共和国、香港

(2) 東南アジア…インドネシア、タイ

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	531
セグメント間取引消去	12
四半期連結損益計算書の営業利益	544

(重要な後発事象)

該当事項はありません。